

記入例

温泉の成分, 成分に影響を与える

成 分			
1 源泉名	□□の湯		
2 源泉所在地	盛岡市□□-□□		
3 泉 質	単純硫黄泉		
4 泉 温 源泉	75.0 °C (気温 20 °C)	使用位置	60.2 °C
5 密度	6 pH 値	7 電気伝導率	8 蒸発残留物
0.995 g/cm ³ (20°C/4°C)	6.57	1.85 S/m(25°C)	12.55 g/kg(180°C)

「成分に影響を与える項目」には、次の事項を記載してください。
 (1) 温泉に水を加えて公共の浴用に供する場合は、その旨及びその理由
 (2) 温泉を加熱して公共の浴用に供する場合は、その旨及びその理由
 (3) 温泉を循環させて公共の浴用に供する場合は、その旨(ろ過を実施している場合は、その旨を含む。)及びその理由
 (4) 温泉に入浴剤(着色し、着香し、又は入浴の効果を高める目的で加える物質をいう。ただし、入浴する者が容易に判別することができるものを除く。)を加え、又は温泉を消毒して公共の浴用に供する場合は、当該入浴剤の名称又は消毒の方法及びその理由

定量条件を記載してください。

9 温泉 1 kg中の成分, 分量及び組成

陽 イ オ ン	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%	陰 イ オ ン	ミリグラム	ミリバル	ミリバル%
カリウムイオン K ⁺	***	***	***	塩化物イオン Cl ⁻	***	***	***
ナトリウムイオン Na ⁺	***	***	***	硫酸イオン SO ₄ ²⁻	***	***	***
マグネシウムイオン Mg ²⁺	***	***	***	炭酸水素イオン HCO ₃ ⁻	***	***	***
カルシウムイオン Ca ²⁺	***	***	***	炭酸イオン CO ₃ ²⁻	***	***	***
総鉄イオン Fe ²⁺ +Fe ³⁺	***	***	***	チオ硫酸イオン S ₂ O ₃ ²⁻	***	***	***
マンガン(II)イオン Mn ²⁺	***	***	***				
アルミニウムイオン Al ³⁺	***	***	***				
陽 イ オ ン 計	***	***	***	陰 イ オ ン 計	***	***	***

1 禁忌症

(1) 温泉の一般的禁忌症
 病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くとも息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期
 (2) 泉質別禁忌症
 皮膚又は粘膜の敏感な人、高齢者の皮膚乾燥症

2 浴用の方法及び注意

(1) 入浴前の注意
 ア 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
 イ 過度の疲労時には身体を休めること。

泉質により、次の項目などを追加してください。

泉質	追加項目
濃厚な塩化物泉	I ⁻ , Br ⁻
濃厚なカルシウム-塩化物泉	Sr ²⁺ , Ba ²⁺
酸性泉	Cu ²⁺ , りん酸, 総 Cr
有機質が含まれる場合	NH ₄ ⁺ , NO ₂ ⁻ , NO ₃ ⁻
花こう岩等、珪長質の火成岩を湧出母岩とするとき	Rn
塩化物高温泉	Li ⁺

こと。
 すこと。
 ップ一杯程度の水分を補給しておくこと。
 , 42°C以上の高温浴は避けること。
 望ましいこと。
 ~3回まで増やしてもよいこと。
 し、慣れてきたら15~20分程度まで延長

ア 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
 イ 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。
 ウ めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

(4) 入浴後の注意

ア 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと)。
 イ 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。

(5) 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日~1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

(6) その他

浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。

3 適応症

定量に用いた方法も記載してください。
 参考) 1Ci = 3.7×10¹⁰Bq
 (1) 泉質別適応症
 アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症
 (2) 泉質別適応症
 アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症

決定年月日は空欄で提出し、
 掲示内容の決定の通知を受けた後、これに記載された日付けを加筆して掲示してください

遊離成分		溶存ガス成分	
非解離成分	ミリグラム	ミリモル	ミリグラム
メタほう酸 HBO ₂	***	***	遊離二酸化炭素 CO ₂
メタけい酸 H ₂ SiO ₃	***	***	(遊離炭酸)
			遊離硫化水素 H ₂ S
非解離成分計	***	***	溶存ガス成分計
	***	***	***
溶存物質(ガス性のものを除く) *** g		成分総計 *** g	
微量成分として 総ひ素 *** mg			
その他の微量成分(任意項目につき検査した場合)			
銅イオン ***mg	ふっ化物イオン ***mg	鉛イオン ***mg	総水銀 ***mg
			カドミウム ***mg
ラドン(Rn)含有量(検査した場合) *** Bq/Kg (*** Ci/kg : *** マッヘ単位)			
(液体シンチレーションカウンタによる定量)			

10 温泉分析年月日(分析書発行年月日) 平成 □□ 年 □月 □□日
 11 登録分析機関の名称及び登録番号 株式会社□□□ □□ 県第 □□ 号

4 禁忌症, 適応症決定年月日 年 月 日 盛岡市